

市民環境大学OB会 ニュースレター



第3号 2015年7月16日 発行

駿河湾沼津港近くの釣り船

「今年も“身近な水環境の全国一斉調査”が実施される！」

今年も6月7日(日)午前中、全国一斉に身近な水環境の調査が実施され、多くのOB会員も測定に参加しました。OB会ではまず、5月定期OB会においてパックテストによる測定方法が解説された後、測定希望者に写真にあるパックテストセット(COD(D)の測定キット)が配布されました。実際の測定は全国一斉の実施日である6月7日午前中に各自が実施し、調査票に日時、場所、水温、3回の測定結果、測定地の状況等の任意調査項目を記入し、6月30日までに事務局に提出されました。

この活動は市民活動グループ「みずとみどり研究会」が中心となり、国土交通省と連携して2004年から全国一斉調査としてスタートし、2013年で10年を迎えました。その後も更に測定は継続され、貴重なデータが収集されるとともに、全国の多くの市民参加により意識改革も進む大きな成果となっています。

この度、身近な水環境の全国一斉調査 10年の歩みが本としてまとめられ、“見る知る調べる 水”が刊行(下記)されました。活動のいきさつ、全国規模とするための国交省との連携、測定方法の統一など調査開始時期の苦労から、継続の重要性、測定実施データ、これからの継続的な活動の模索など、小倉さんを中心にした大変貴重な10年の成果がよくわかる一冊になっています。



COD(D)の測定キット(3回測定用)



今回発刊された
“見る知る調べる水”

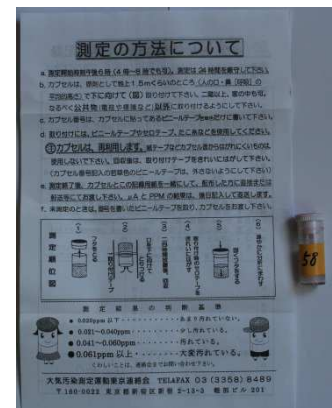
(発行:全国環境研会誌事務局 発売:星雲社)

「第76回NO₂全都いっせい測定に参加！」

OB会では水質測定に先立ち、6月4日夕刻から5日までの24時間で大気中の二酸化窒素測定活動に参加しました。測定は右図のようなプラスチックのカプセルのふたをとり、口を下に向けて地上1.5mの高さに設置し、24時間放置後、ふたをして回収し、分析します。

これは大気汚染測定運動東京連絡会と連携して、日野あおぞら連絡会(神保さん)がこれも10年にわたって継続して測定し、日野市の大気汚染の状況を粘り強く観察している市民活動です。

前回は昨年12月に実施され、東京都区部5562地点、多摩地区3570地点、合計9132地点で測定されています。日野市では331地点で測定され、最大値が豊田駅前、百草の0.044ppm、平均0.026ppmとなっています。2004年からのこの10年の傾向は23区、多摩地区とともに徐々にではありますが減少又は横ばい傾向です。



簡易測定カプセルと測定手順